
easyHousing

環境設定・操作マニュアル 第 1.8 版

2015年8月17日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2013/11/12	新規作成
1.1 版	2013/11/20	補足 3 困ったときは？ ・拡張保護モードの記載を追加
1.2 版	2014/2/5	2. インターネットエクスプローラの設定 ・Internet Explorer 11 の記載を追加 補足 3 困ったときは？ ・拡張保護モードについて、記載を追加
1.3 版	2014/3/3	4.2 電子証明書の登録 ・証明書ファイル名の説明を追加
1.4 版	2014/7/29	4.1 easyHousing(管理サイト)へのログイン ・会社コードと、管理者ユーザーのログイン ID・パスワードについての説明を追加
1.5 版	2014/12/3	2. クライアントチェックツール V3 の必須設定項目にあわせ、IE 設定手順を見直し 4 電子証明書登録・確認手順の変更 ・補足 1 権限マスタ操作手順の削除
1.6 版	2015/1/28	4-1-④ ・証明書メンテ画面の画像を未登録の画面に差し替え 4.2、4.3 手順の誤りを修正 ・電子証明書の登録→電子証明書の確認の手順に修正
1.7 版	2015/7/1	2. インターネットエクスプローラの設定 Internet Explorer6 の記述を削除 4. 電子証明書の確認 easyHousing 申請フロー変更にあわせ、電子証明書預かりの登録作業手順を削除し、確認手順のみに修正
1.8 版	2015/8/17	2. インターネットエクスプローラの設定 ・設定手順の修正 3.1 Adobe Reader のインストール ・Windows XP の記述を削除 補足 困ったときは？ ・Internet Explorer7 の記述を削除 4 電子証明書の確認 ・電子証明書用パスワード（PINコード）はがき仕様変更のため、はがき画像差替え

目 次

1	はじめに	4
2	インターネットエクスプローラの設定	4
3	必要ソフトウェアのセットアップ	9
3.1	Adobe Reader のインストール(対象 : Windows 7)	9
3.2	Adobe Reader のインストール(対象 : Windows Vista)	10
3.3	Reader について(対象 : Windows 8 , 8.1)	11
4	電子証明書の確認	12
4.1	電子証明書メンテナンス画面を開く	13
4.2	電子証明書の確認	15
4.3	電子証明書有効期限について	16
補足	困ったときは?	18

1 はじめに

このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

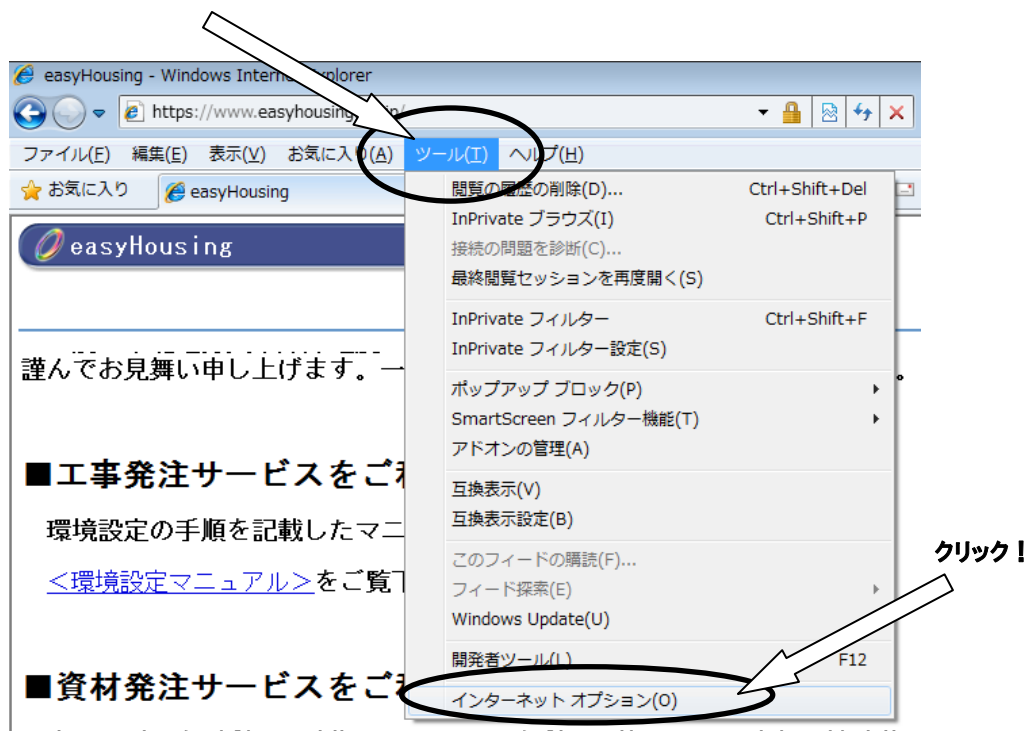
- ・インターネットエクスプローラの設定
- ・必要ソフトウェアのセットアップ
- ・電子証明書登録情報の確認手順

2 インターネットエクスプローラの設定

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

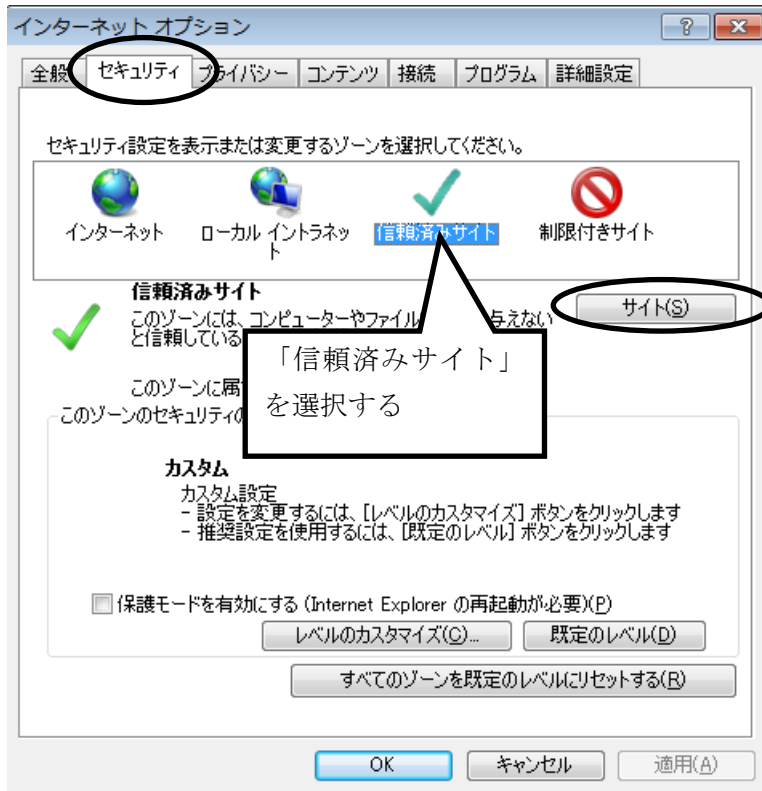
① メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードのAltキーを押下すると表示されます)

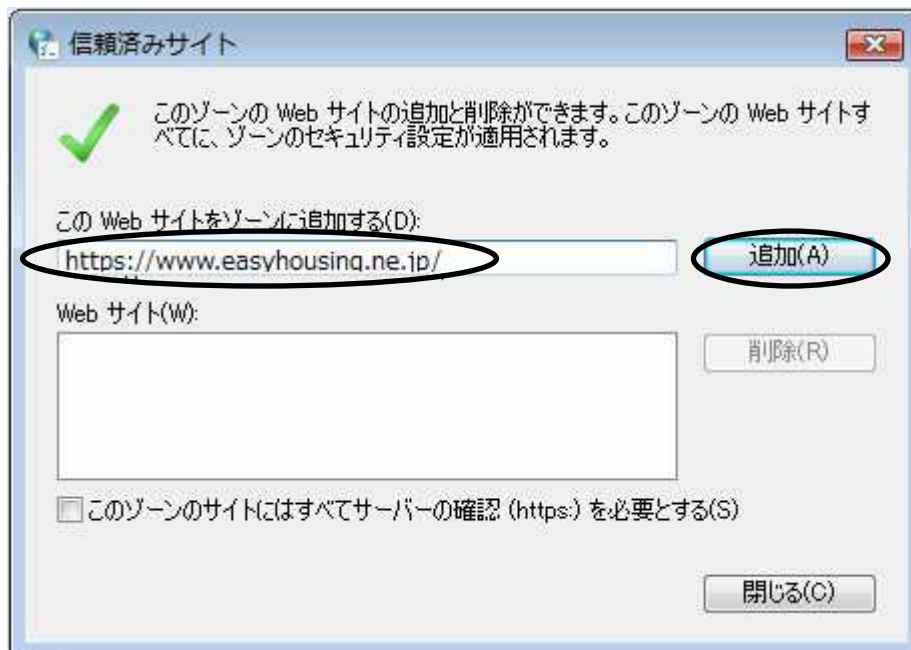


② 信頼済みサイトの設定をします。

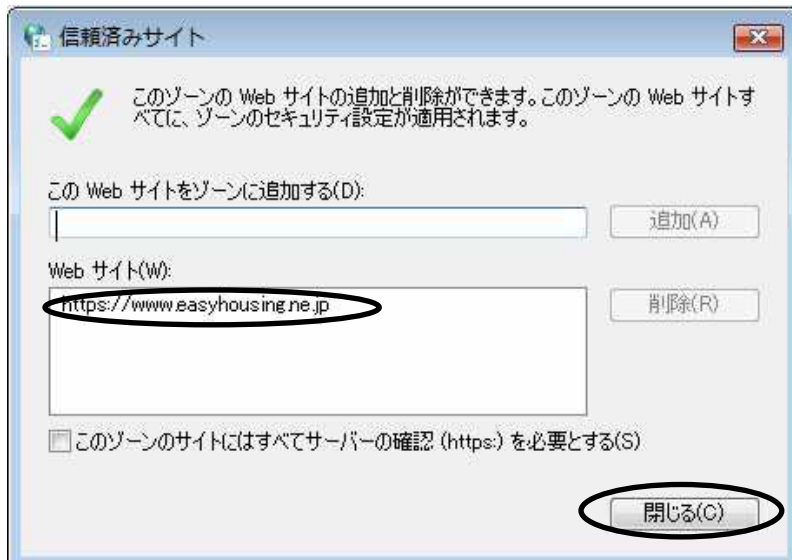
1. 「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックしてください。



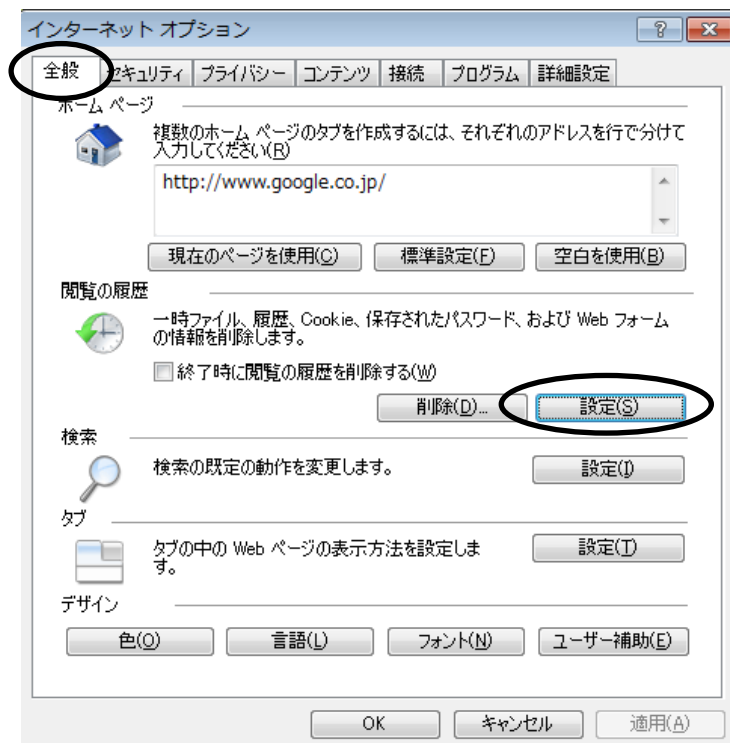
2. 「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンをクリックしてください。



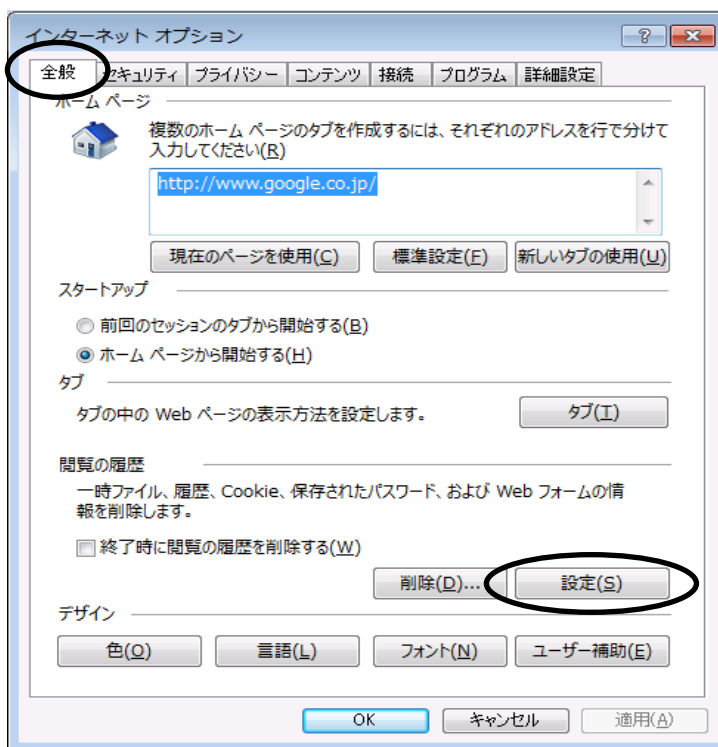
3. 「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



- ③ [全般] タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。
(Internet Explorer 11 の場合、「設定」ボタンの位置が異なります。)



(Internet Explorer 11 の場合)

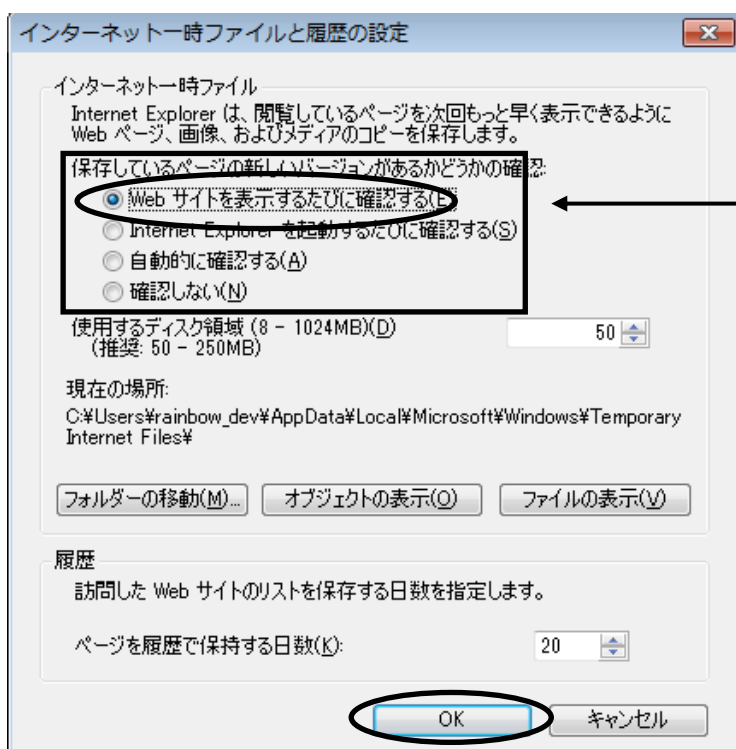


④ 「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

● 保存しているページの新しいバージョンの確認

→ 「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、「OK」ボタンをクリックします。

(Internet Explorer 11 の場合、画像とは異なります。)



Web サイト データの設定

インターネット一時ファイル 履歴 キャッシュおよびデータベース

Internet Explorer は、閲覧しているページを次回もっと早く表示できるように Web ページ、画像、およびメディアのコピーを保存します。

保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認:

☒ Web サイトを表示するたびに確認する(E)

☐ Internet Explorer を開始するたびに確認する(S)

☐ 自動的に確認する(A)

☐ 確認しない(N)

使用するディスク領域 (8 - 1024MB)(D) 250

(推奨: 50 - 250MB)

現在の場所:
C:\Users\rainbow_dev\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\

フォルダーの移動(M)... オブジェクトの表示(O) ファイルの表示(V)

OK キャンセル

「Web サイトを表示するた
びに確認する」にチェック

インターネット オプション

全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定

設定

☐ マイ コンピューターでの、CD のアクティブ コンテンツの実行を許可する*
☐ マイ コンピューターでのファイルでのアクティブ コンテンツの実行を許可する*
☐ 暗号化されたページをディスクに保存しない
☐ 署名が無効な場合でもソフトウェアの実行またはインストールを許可する
☒ 証明書のアドレスの不一致について警告する*
☐ 他の混在したコンテンツを持つセキュリティで保護されていないイメージを
☒ 統合 Windows 認証を使用する*
☒ 発行元証明書の取り消しを確認する
☐ 保護付き/保護なしのサイト間を移動する場合に警告する

ブラウズ

☐ Ctrl+Tab でタブを切り替えるときに、最新のページの順で切り替える
☒ FTP フォルダービューを有効にする (Internet Explorer 外)
☒ HTTP エラー メッセージを簡易表示する

*Internet Explorer の再開後に有効になります。

詳細設定を復元(R)

Internet Explorer の設定をリセット

Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。

リセット(S)...

ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。

OK キャンセル 適用(A)

⑥『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

3 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中に電源を切らないでください
- (3) Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、Administrator 権限を持つ他のユーザーからのインストールが必要です

3.1 Adobe Reader のインストール(対象: Windows 7)

インストール手順については、こちらの URL をご覧ください。

<http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/cq10181859.html>

※URL は、Adobe 社の都合により変更になることがございます

上記、URL 内にある「B. Windows 版 Adobe Reader XI のインストール」の手順通りにお進みください。
インストーラーは丸で囲ったリンクよりダウンロードをお願いいたします。

B. Windows 版 Adobe Reader XI のインストール

先頭へ

1. 以下のリンクをクリックし、ファイルをデスクトップなどの分かりやすい場所に保存します。

[Windows 版 Adobe Reader XI インストーラー](#)

2. ダウンロードした AdbRdr11000_ja_JP.exe ファイルをダブルクリックします。

※ ユーザーアカウント制御ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。



AdbRdr11000_ja
_JP.exe

3.2 Adobe Reader のインストール(対象: Windows Vista)

インストール手順については、こちらの URL をご覧ください。

http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/cpsid_89111.html

※URL は、Adobe 社の都合により変更になることがあります

上記、URL 内にある「Windows 版 Adobe Reader X」の手順通りにお進みください。

インストーラーは丸で囲ったリンクよりダウンロードをお願いいたします。

Windows 版 Adobe Reader X

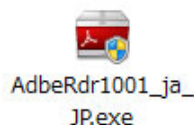
[先頭へ](#)

1. 以下のリンクをクリックし、ファイルをデスクトップなどの分かりやすい場所に保存します。

 注意 : 下記リンクをクリックするとすぐにダウンロードが始まります。必ずソフトウェア使用許諾書をお読みになり、同意をした上でクリックしてください。

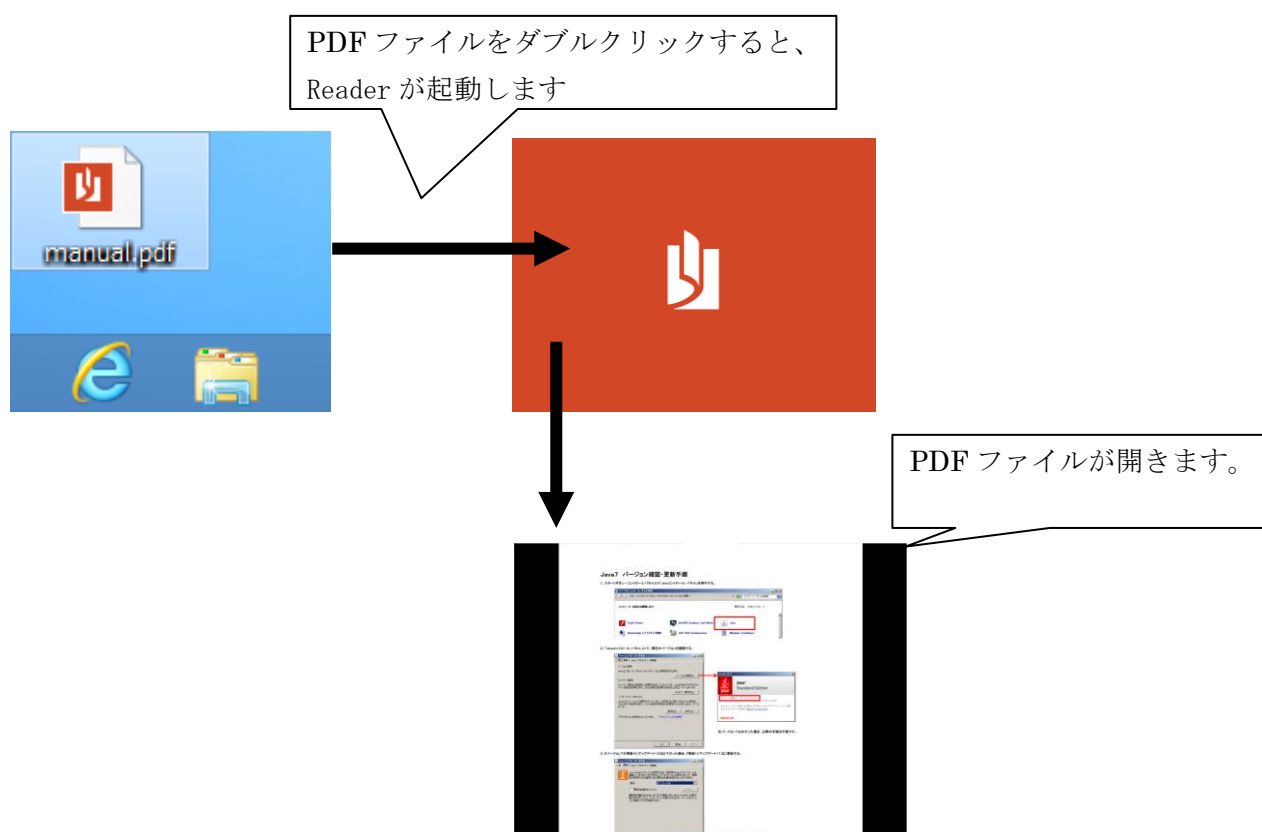
[Adobe Reader X インストーラー](#)

2. ダウンロードした AdbeRdr1010_ja_JP.exe ファイルをダブルクリックします。
※ ユーザーアカウント制御ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」(Windows 7) / 「続行」(Windows Vista) をクリックします。
※ 下記スクリーンショット中のバージョン番号はインストール中のものと読み替えてください。



3.3 Reader について(対象 : Windows 8 , 8.1)

Windows 8, 8.1 は、Windows 7 までと異なり「Adobe Reader」をインストールしなくても「Reader」で PDF ファイルを開くことができます。



4 電子証明書の確認

この章では、easyHousing ご利用前に必要な、電子証明書の確認の手順について説明します。

電子証明書の確認前に、以下の書類のご用意をお願いします。

●お手元にご用意していただくもの

紛失・盗難等にご注意ください

**easyHousing
からの重要なお知らせ**

企業管理コード: 123456000001
日本電気株式会社
請負部門名称 様
【日本電気株式会社】
中面をご覧ください

電子証明書のご確認をお願いします。
「証明書メンテ」をクリックし電子証明書メンテナンス画面をひらき、
「ファイル名」項目に表示されるファイル名が下記の「ファイルNo.」と
同じであることをご確認ください。

ファイルNo.: XXXX.p12

パスワード: ABCD1234efgx5678

[印文字は下記となります。読み違えにご注意ください。]
0123456789
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

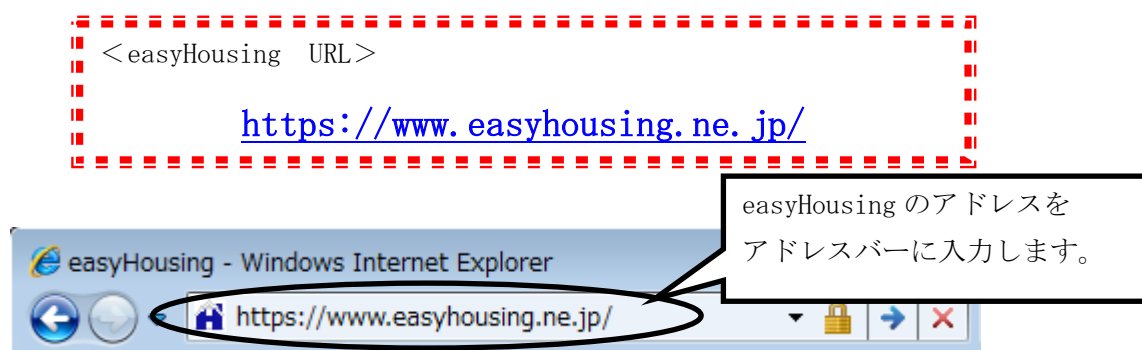
電子証明書用パスワード（PINコード）はがき（例）

◆注意◆

本マニュアルは、easyHousing ご利用開始時に予め電子証明書お預かりサービスに登録済で、登録された電子証明書の確認作業のみをおこなうご利用者様向けの手順となっています。
お手持ちの電子証明書 CD から電子証明書お預かりサービスへの登録をおこなう場合は、別紙＜電子証明書お預かりサービス 操作マニュアル＞をご覧ください。

4.1 電子証明書メンテナンス画面を開く

- ① インターネットエクスプローラ（IE）を起動します。
- ② アドレスバーに easyHousing のURLを入力し、E n t e r キーを押下します。



- ③ easyHousing のログイン画面が開いたら、
 - ・「会社コード(12 桁)」
 - ・「ログインID」
 - ・「パスワード」以上の項目を入力し、『OK』ボタンをクリックします。



④ 電子証明書メンテナンス画面を開く

easyHousing にログインし、画面左側にある「証明書メンテ」リンクをクリックすると、電子証明書メンテナンス画面が表示されます。



4.2 電子証明書の確認

①電子証明書が登録されている事を確認します。

「電子証明書用パスワード（PINコード）」はがきに記載されている「ファイルNo.」と、電子証明書メンテナンス画面の「ファイル名」項目に表示されるファイル名が同じであることをご確認ください。

easyHousing管理サイト - Windows Internet Explorer

https://www.easyhousing.ne.jp/admin/

電子証明書メンテナンス

2014/12/05 13:15

会社：日本電気株式会社
部門：世帯用部門名称
社員：管理番号
● 証明書有効期限：2019/03/27 14:09:58

証明書登録

証明書ファイル
証明書パスワード

表示条件入力欄

☐ 有効期限切れ、失効済、削除済証明書データも含めて表示

企業管理コード	企業名	部門名	有効期限（開始）	有効期限（終了）	失効日	登録日時	削除日時	ファイル名	シリアルNo.
xxxxxxxxxxxx	日本電気株式会社	評価用企業	2014/02/27 14:10:02	2019/03/27 14:10:02		2014/02/27 18:55:16		xxxx.P12	xxxx

「ステータス」凡例

青色：電子証明書有効（有効期限終了日まで60日以上）
黄色：電子証明書有効（有効期限終了日まで60日未満）
赤色：電子証明書無効（有効期限外、または失効済、または削除済）
黒色：電子証明書無効（有効化ボタンを押して、有効化して下さい）

1 画面で表示しきれない場合には、スクロールバーを右側にずらします。

有効期限（開始）	有効期限（終了）	失効日	登録日時	削除日時	ファイル名	シリアルNo.
2014/02/27 14:10:02	2019/03/27 14:10:02		2014/02/27 18:55:16		xxxx.P12	xxxx

紛失・盗難等にご注意ください

easyHousing
からの重要なお知らせ

企業管理コード：123456000001
日本電気株式会社
請負部門名称 様
【日本電気株式会社】
中面を

電子証明書のご確認をお願いします。
「証明書メンテ」をクリックし電子証明書メンテナンス画面をひらき、
「ファイル名」項目に表示されるファイル名と、印刷の「ファイルNo.」と
同じであることをご確認ください。

ファイルNo.：xxxx.p12

パスワード： ABCD1234efgx5678

[印字文字は下記となります。読み違えにご注意ください。]
0123456789
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

電子証明書情報確認

「電子証明書用パスワード」はがきに記載されている「ファイルNo.」と、ファイル名項目に表示される「ファイル名」が同じであることをご確認ください。

4.3 電子証明書有効期限について

① 電子証明書の有効期限

電子証明書には5年間の有効期間があるため、一定期間毎に更新※をする必要があります。
(証明書更新に関しては、easyHousing お申し込みの代表企業様へお問合せください)

※古い証明書を削除する作業は必要はありません。

② 電子証明書の有効期限確認方法は、以下の2か所で確認することができます。

(1) 電子証明書メンテナンスの場合：

ステータス／有効期限（終了）からご確認いただけます。

【ステータス一覧】

- 青色**：電子証明書有効（有効期限終了日まで60日以上）
- 黄色**：電子証明書有効（有効期限終了日まで60日未満）
- 赤色**：電子証明書無効（有効期間外、または失効済、または削除済）
- 無色**：電子証明書無効（有効化ボタンを押して、有効化してください）

easyHousing - Windows Internet Explorer

電子証明書メンテナンス

2014/12/05 13:15
会社：日本電気株式会社
部門：評価用部門名称
社員：若林 浩
● 電子証明書有効期限：
2019/03/27 14:09:58

トピック
・ 請負創業務メニュー
・ マスタメンテ
ユーザ情報変更
ダウンロード
証明書メンテ
終了

証明書登録
証明書ファイル
証明書パスワード
参照
保存

表示条件入力
☐ 有効期限切

この部分の色が証明書の状態(ステータス)です。

ID	企業名	部門名	有効期限 (開始)	有効期限 (終了)	発日
TEST	日本電気株式会社 評価請負用部門名称		2014/02/27 14:09:58	2019/03/27 14:09:58	2014/

対象件数 1件中 1 ~ 1 件を表示 [1]

「ステータス」凡例
青色：電子証明書有効（有効期限終了日まで60日以上）
黄色：電子証明書有効（有効期限終了日まで60日未満）
赤色：電子証明書無効（有効期間外、または失効済、または削除済）
無色：電子証明書無効（有効化ボタンを押して、有効化してください）

電子証明書の有効期限です。

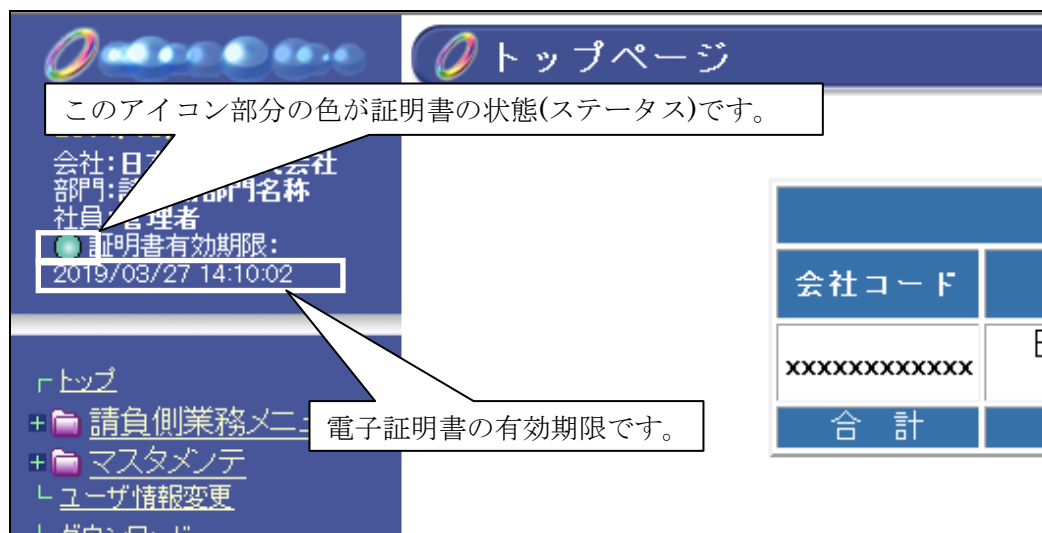
信頼済みサイト | 保護モード: 無効 | 100%

(2) easyHousing 画面左上アイコン表示の場合：

easyHousing にログイン後、画面左上のアイコン及び証明書有効期限から
ご確認いただけます。

【アイコンステータス一覧】

- 緑色 ： 電子証明書有効（有効期限終了日まで 60 日以上）
- 黄色 ： 電子証明書有効（有効期限終了日まで 60 日未満）
- 赤色 ： 電子証明書無効（有効期間外、または失効済、または削除済）
- 無色 ： 電子証明書無効（電子証明書が無効状態）



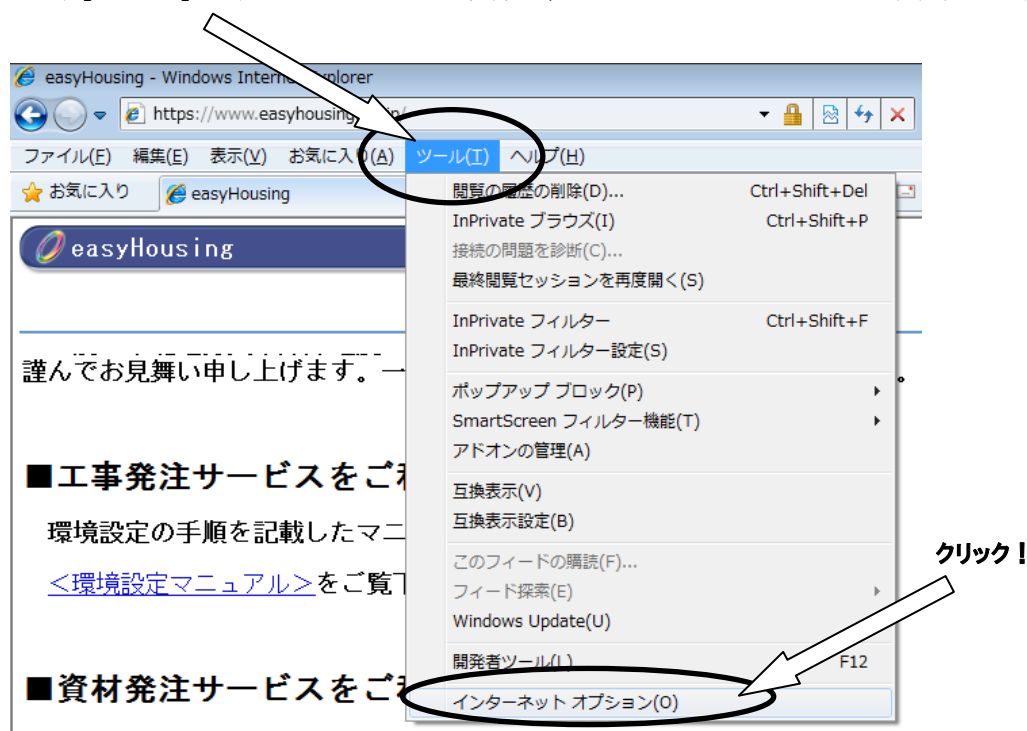
補足 困ったときは？

前章までの設定を行った上で、本サービス利用時にエラーが発生した場合に補足で確認する項目を説明します。

以下の①～⑧の手順にて、ご利用の PC の設定を確認してください。

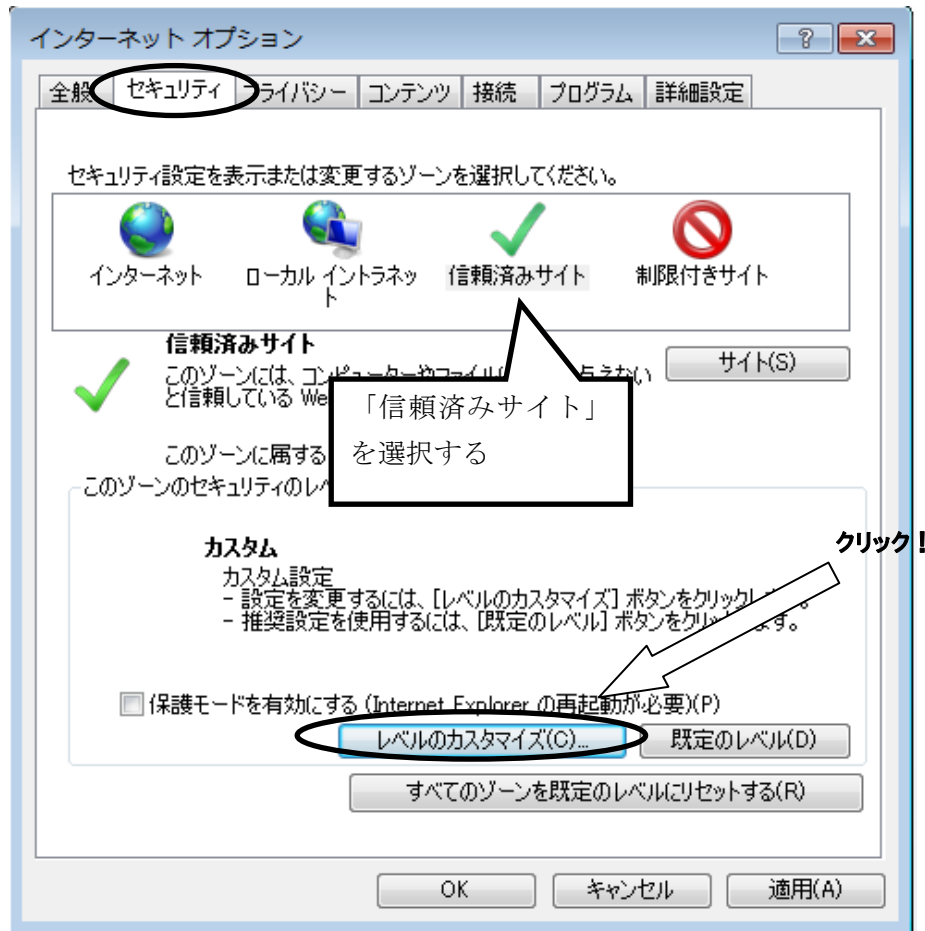
① メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



② <インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

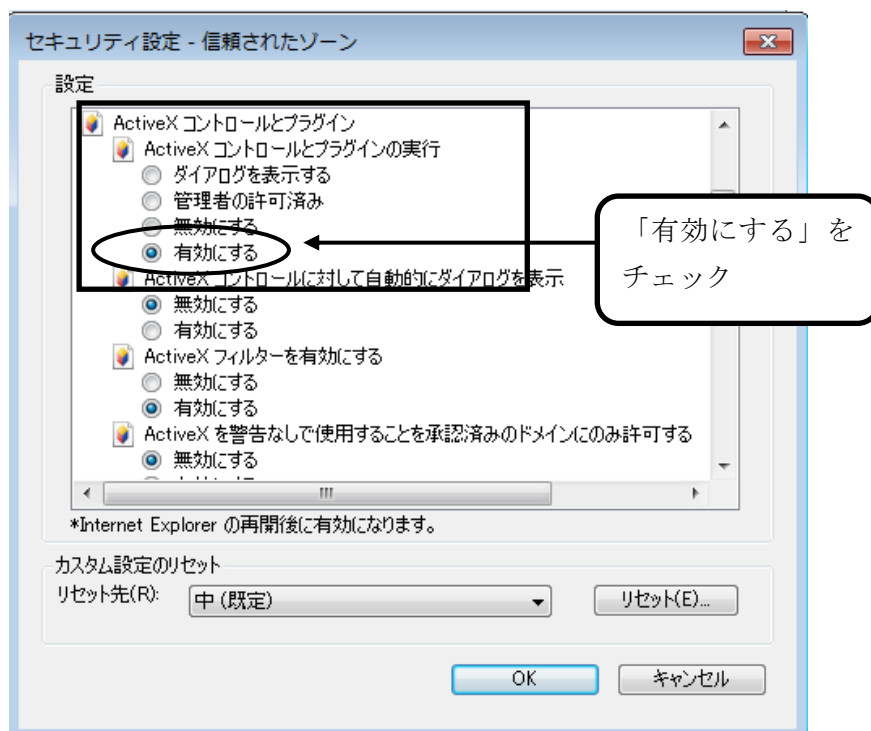
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックしてください。



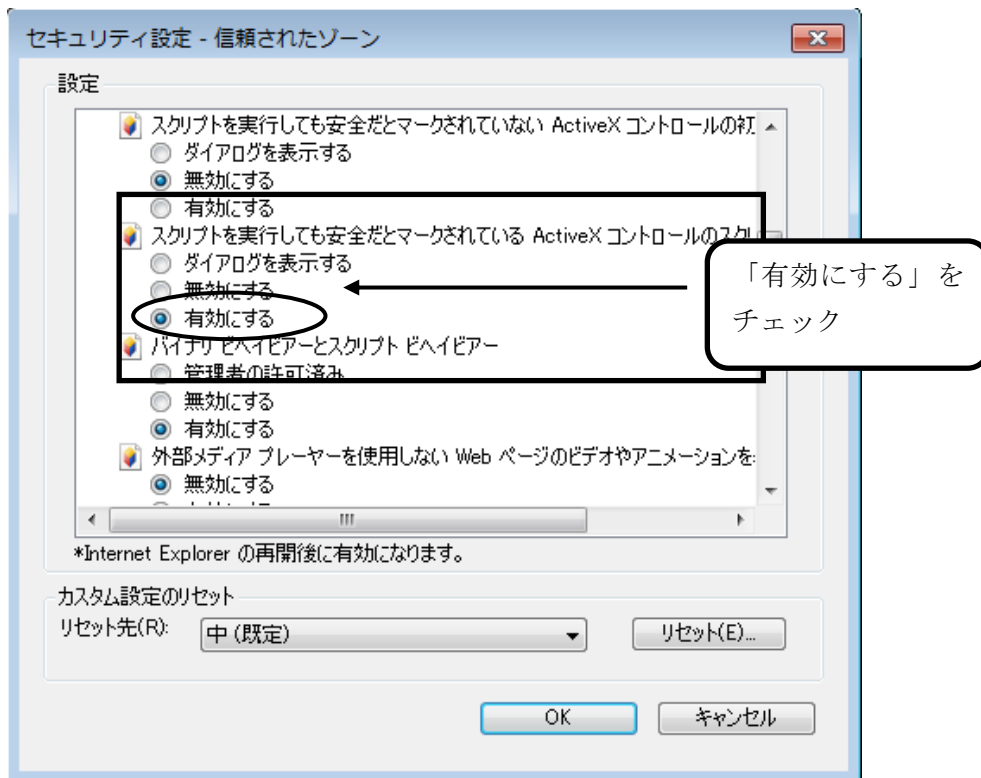
③ <セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

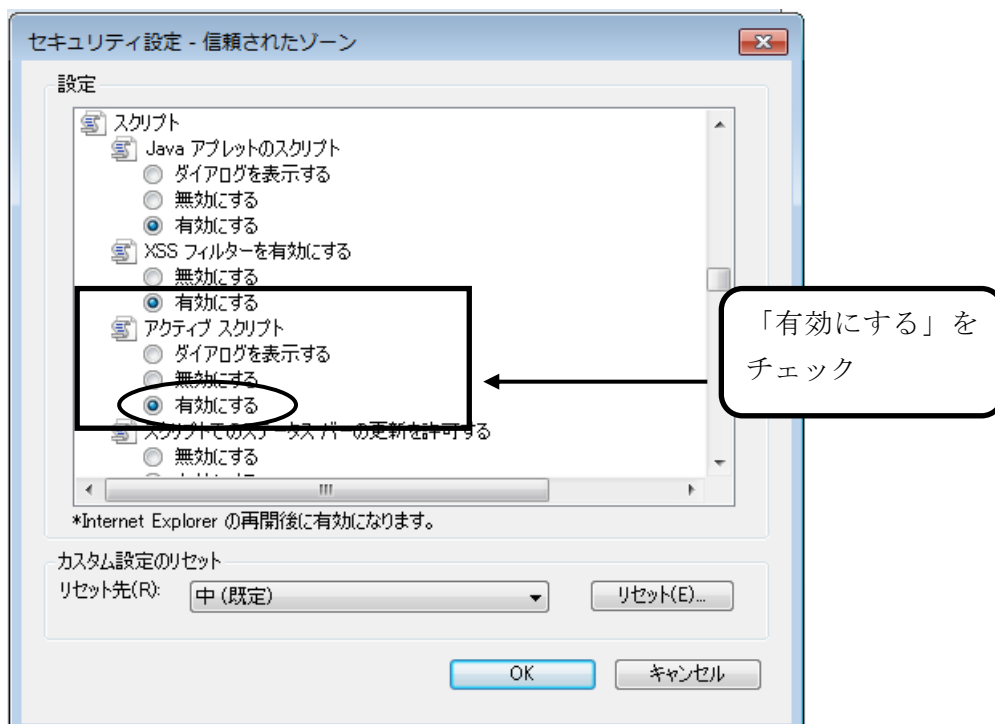
→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→ 「有効にする」にチェックします。

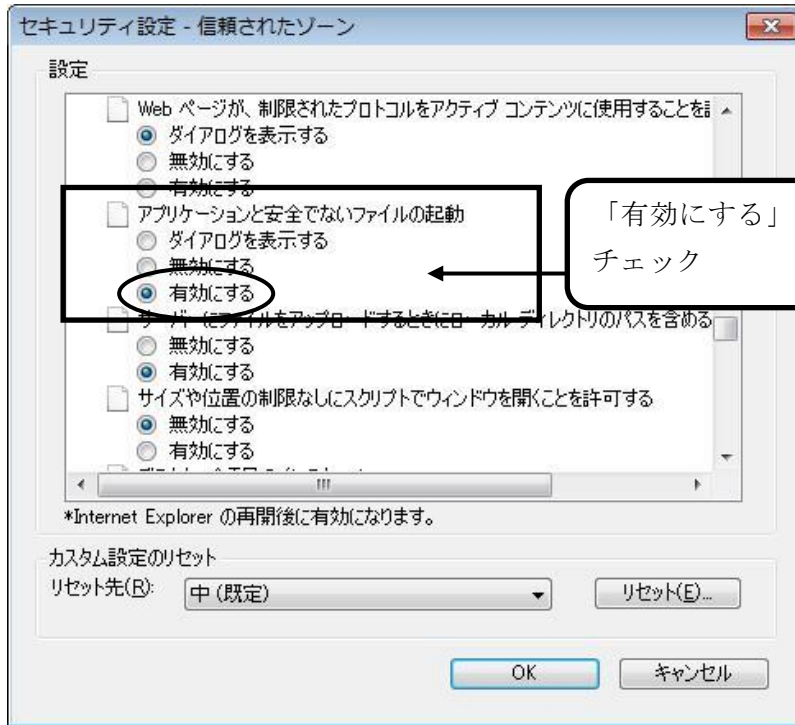


- アクティブスクリプト
→ 「有効にする」にチェックします。



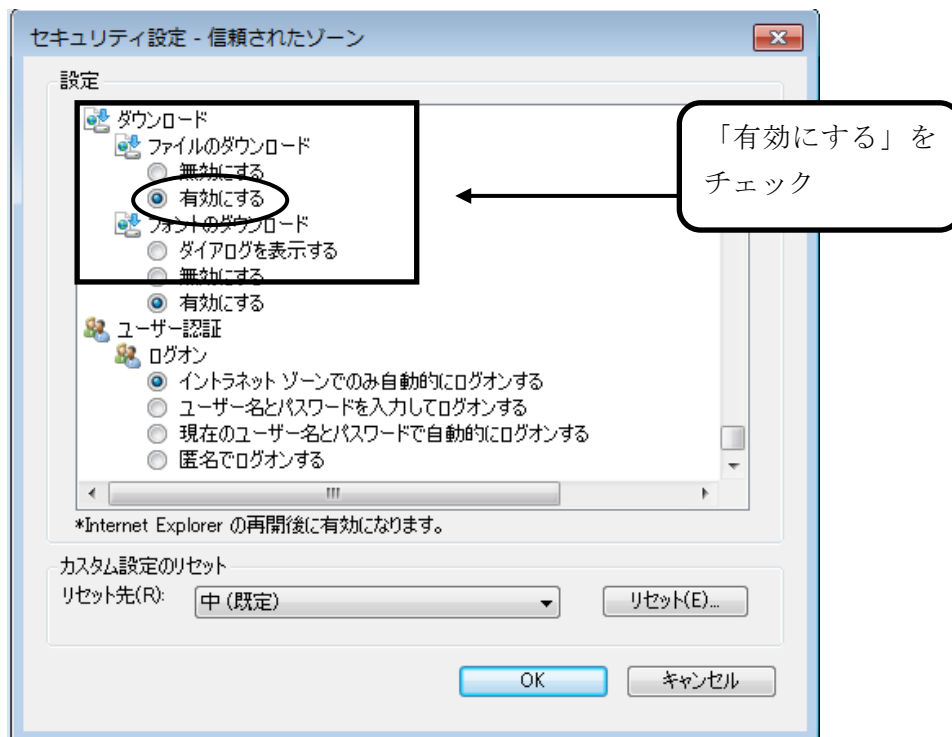
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→「有効にする」にチェックします。



●ファイルのダウンロード

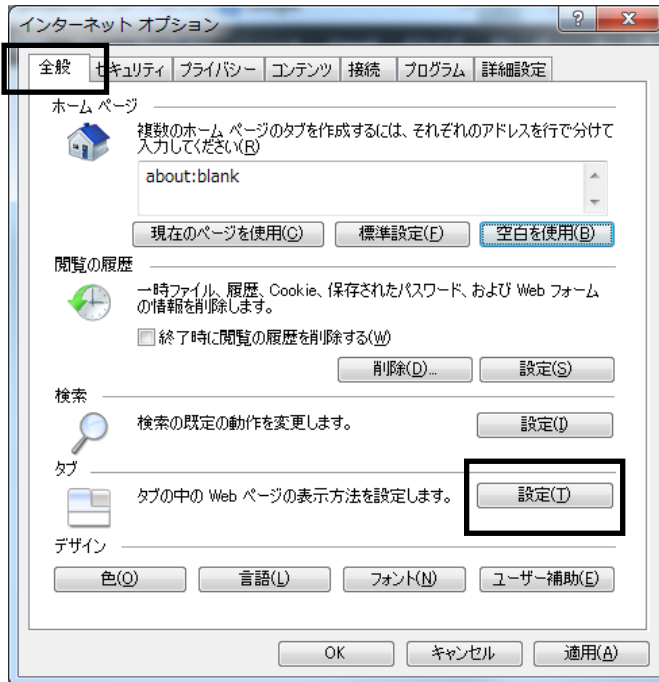
→「有効にする」にチェックします。



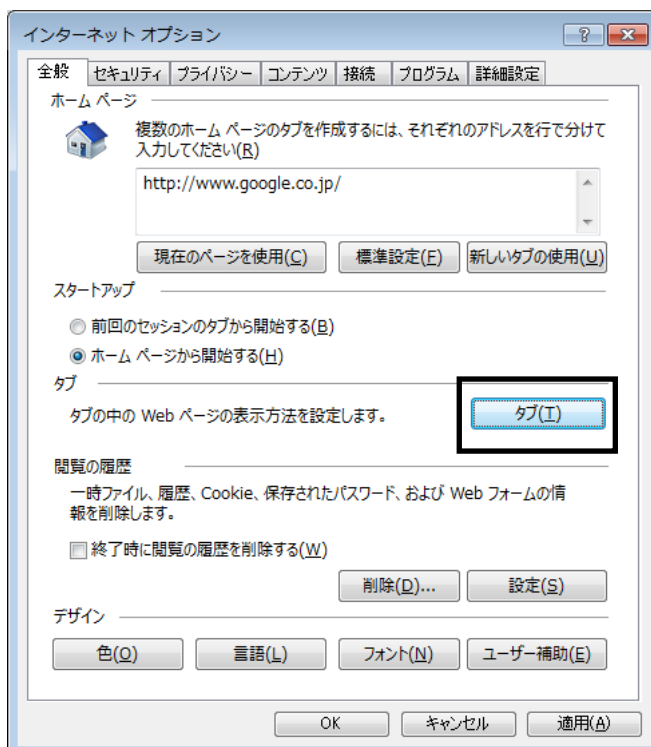
④ 『OK』 ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

⑤ [全般] で、タブの「設定」ボタンをクリックします。

(Internet Explorer 10, 11 の場合、「タブ」ボタンをクリックします)

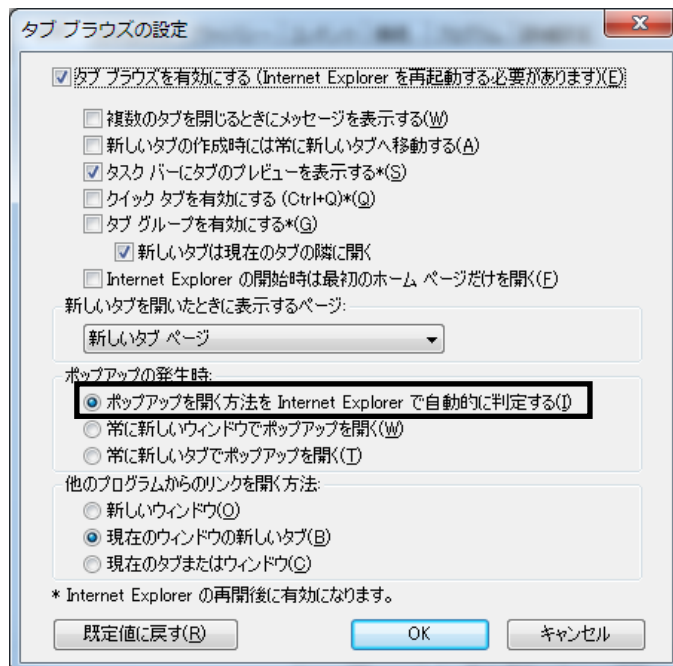


(Internet Explorer 10, 11 の場合)

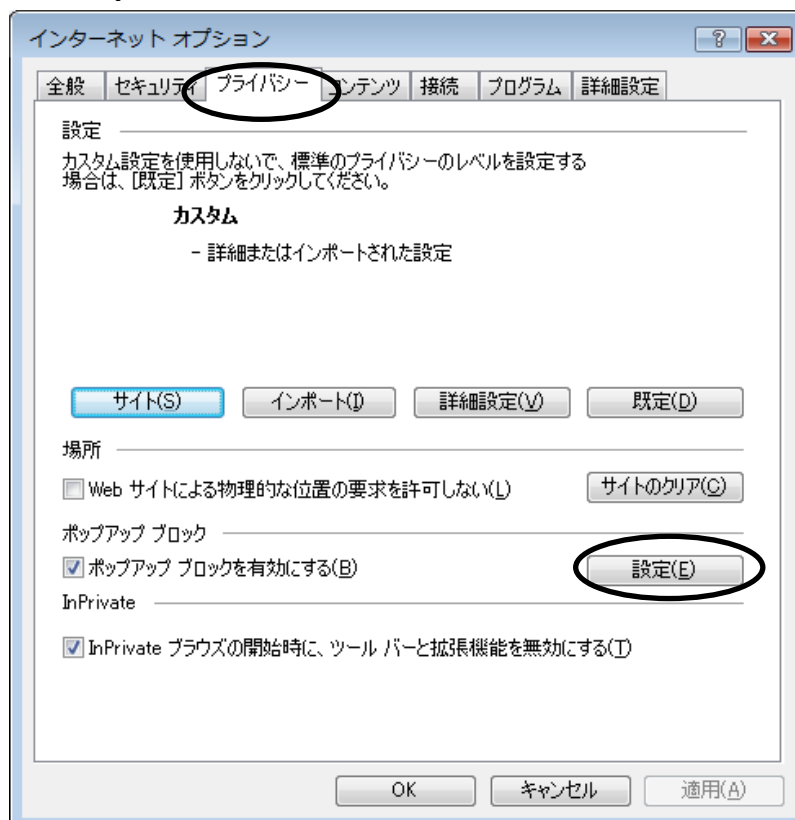


「ポップアップの発生時」で、

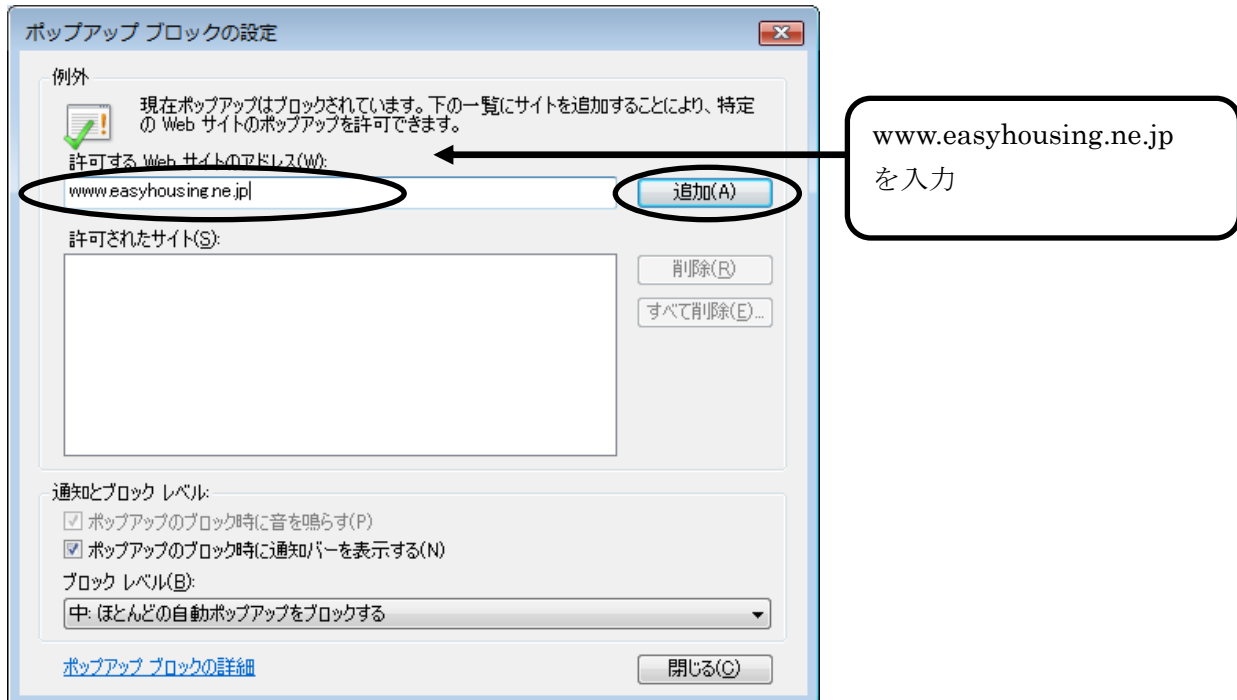
「ポップアップを開く方法を Internet Explorer で自動的に判定する」に変更します。



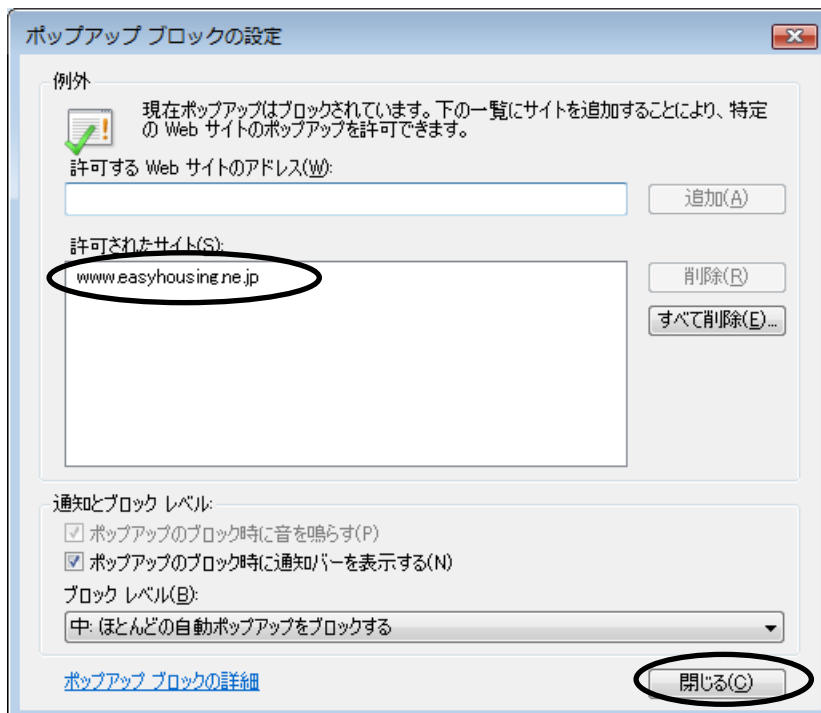
- ⑥ 「プライバシー」タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。



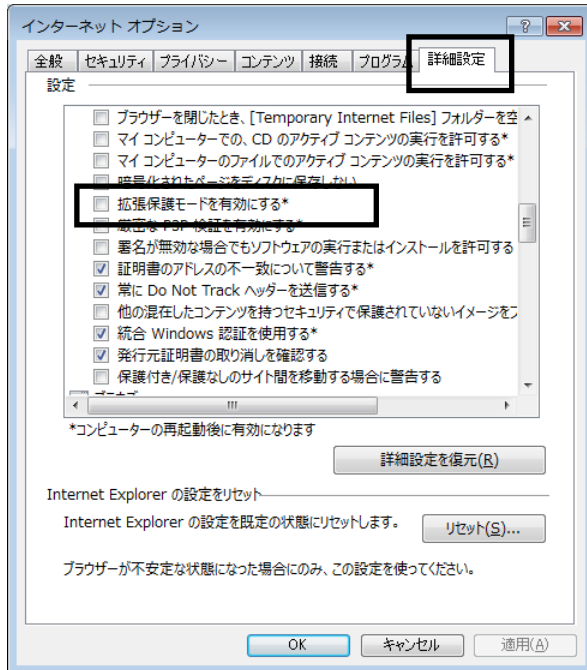
「許可する Web サイトのアドレス」に、
「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、
「閉じる」ボタンをクリックします。

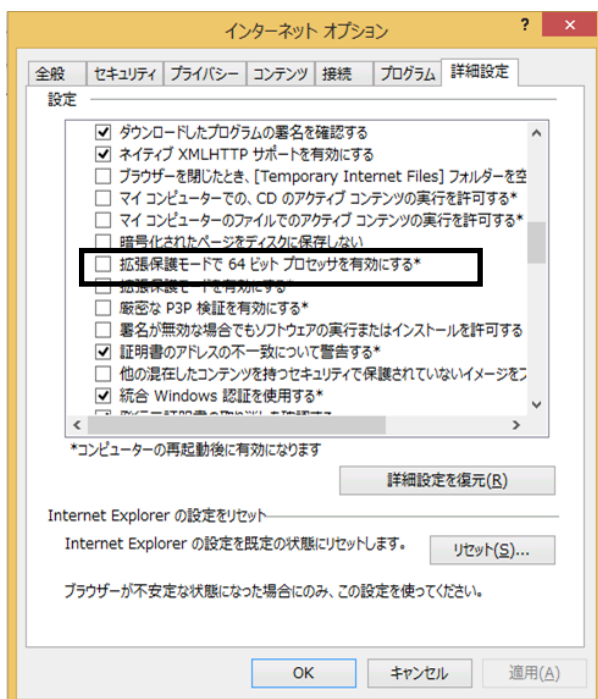


- ⑦ インターネットオプションの「詳細設定」で、「拡張保護モードを有効にする」にチェックがあった場合はそのチェックも外します。（項目が無かった場合は不要です。）



Windows 8.1(64bit) Internet Explorer 11 のみ

「拡張保護モードで 64 ビット プロセッサを有効にする」にチェックがあった場合はそのチェックも外します。



- ⑧ 『OK』 ボタンクリックで画面を閉じ、設定の確認はすべて終了となります。

easyHousing 環境設定・操作マニュアル

2015 年 8 月 17 日 第 1.8 版

製作／日本電気株式会社

※ Microsoft®、Windows®、Microsoft®Internet Explorer は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。

※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。